

2024（令和6）年3月31日

2023（令和5）年度関西保育福祉専門学校

第2回学校関係者評価委員会報告

本校の学校関係者評価委員会設置要綱に基づき設置した学校関係者評価委員会において、第2回学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、概要をお知らせいたします。

1 開催期日 令和6年3月13日（水）15:00～17:00

2 開催場所 関西保育福祉専門学校 2F 校長室

3 出席者

■ 学校関係者評価委員

NO	委員名	所属等	出欠
1	前田由季子委員	社会福祉法人 樫の木会 開明かしの木こども園 園長	出席
2	田淵勝彦 委員	社会福祉法人 みおつくし福祉会 救護施設 淀川寮 施設長	出席
3	丸山和幸 委員	社会福祉法人 三田谷治療教育院 芦屋翠ホーム 施設長	出席
4	水嶋正稔 委員	兵庫県立尼崎高等学校 校長	欠席
5	越山紀湖 委員	保育科2年 保証人	出席
6	波多野靖明委員	社会福祉法人あひる福祉会 あひる保育園 副園長	出席
7	松本陽介 委員	学校法人阪急学園 副理事長 認定こども園 いるか幼稚園 園長	欠席

■ 学校教職員

NO	名前	所属等	出欠
1	本田 あけみ	校長 関西国際大学経営学部 教授	出席
2	竹島 琢夫	事務局長	出席
3	榎本 優人	学校関係者評価委員会担当	出席
4	藤田 千波	保育科学科長 就職委員長	出席
5	藤井 和子	教務委員長	出席
6	吉田 しのぶ	入試委員長 学生指導委員長	出席
7	清山 莉奈	情報教育担当	出席

4 概要

(1) 校長挨拶

(2) 委員長選出

委員長には第1回に引き続き、丸山和幸 委員が選出された。

(3) 報告

2023(令和5)年度 学校自己評価報告書(案)について協議がなされ、結果は2023(令和5)年度「自己評価報告書」の通りである。

なお、委員より以下の意見等があり、都合により当日欠席となった委員の方については、資料をお送りし、意見を頂戴した。

[基準1・2について]

- ・保証人の立場として、義務教育を既に終えた専門学生ではあるが、学生自身が学校での出来事等を常に話せるような家庭が少しでも増えると、学生を支えるご家族も安心されるのではと感じている。
- ・現場でも、人前に立って何かを表現するということが苦手な方が多くなっている印象を強く受ける。そういった意味でもここに記載されているような即戦力となりうる学生を輩出していただけるとありがたい。

[基準3~6について]

- ・入学前説明会の取り組みについて、大変有意義であると感じている。現場でもなるべく4月入職者に対し、2・3月ごろから前倒しで研修等を実施している所が増えている。入職前に少しでも慣れていただき、可能な限り離職者を出さないよう努力している。
- ・到達基準に記載された文言を含め、より具体的な目標(学生がわかりやすいような)があるとさらに良いのではないだろうか。
- ・ICT化に疎いとされる保育現場で、今現在どれくらいの園でICT化が進行しているのか？
→園の考え方によるが、直接的に学生に影響する点で言えば、実習の指導案や記録等をパソコンで入力するといった取り組みを実施している園もある。
- ・記録に関して、現場の先生方にもそれほど多くを求めない傾向にある。それに付随して、実習生等に対しても柔軟な考えで対応していく必要があるのではないだろうか。
- ・総じて、現場ではICT化があまり進んでいない現状がある。古い考えを改める必要性を痛感じている。
- ・就職について、「希望なし」は非常にもったいないと感じる。
就職あるいは進学に是非導いていただければ有難い。

[基準7~10について]

- ・学生それぞれが、さまざまな得意分野(専門性の高い)を活かすことができれば良いのではないだろうか。
- ・オープンキャンパス参加者が全体的に増加していて、中でも3年生は減少し、1・2年生が

増加、社会人も増加傾向である。早い段階で情報収集し、3年生では既に進学先を決めている傾向なのだと分かる。特に2年生向けにPRするような取り組みが成果を上げて行く近道ではないか。